

名家連ニュース

令和元年9月19日(木)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀田 明
TEL/FAX(052)846-5576 NO.648号

第5回 精神疾患の理解と対応

❖ 家族が変われば本人も変わる ❖

講師の本間宣貴氏は、「家族は気が付かないうちに、良くも悪くも、お互いに強く影響を与え合いながら生活している共同体です。家族それぞれをバラバラに理解するのではなく、家族システムとして理解し工夫する方法を皆さんと学んでいきたいと思います」と第5回講座の内容を紹介していました。

関心のあるテーマだけに、9月17日(火)の講座には101名の家族・当事者・支援者が参加しました。

【講義概要】

古代の人は、自分たちではどうしようもできないことを、神のせいだとして、納得していた。神話や星座がその例である。現代は、科学万能主義により、全ての結果に、その原因を探そうとする。しかし、生きている人が相手の場合には、その考え方には、限界がある。古代の人が、一番明るい星であるスピカだけではなく、ぼーっと全体を眺めて、おとめ座という物語を作ったように、病気の症状として現れる、ある一点だけにとらわれないように全体を見渡す必要がある。自分も含めた全体の中で、本人の今の状態に意味を見出し、家族の物語を作ってみよう。決して犯人探しではなくて、お互いの立場に気づき、しかも、自分が納得できる物語が必要である。

更に、病気である本人の物語も必要である。それは、最近、「リカバリーストーリー」として注目されていて、それらをまとめた本も出版されている。しかしながら、それらは、決して、病気がなくなったという話ではない。家族の物語も同じで、それで、問題が解決するというわけではないが、問題との共存の方法や、どうしようもない苦悩への救いになると信じる。

❖ 障害者と市民のつどい～交流広場 in オアシス21 ❖

2019年10月14日(月・祝) 午前10時 開会式

主催：名古屋市、障害者と市民のつどい拡大実行委員会



名古屋のど真ん中、栄オアシス21で恒例の「障害者と市民のつどい」が開催されます。今年は、ボルダリングやスラックラインが会場に登場。更に、ステージではサルサガムテープの出演も決定!!



同時開催 第35回名古屋シティハンディマラソン

名古屋シティハンディマラソンはスポーツを通して障害のある人もない人も共に生きる差別のない社会を目指します。このマラソンが始まった1984年当時、名古屋市内のバリアフリーは進んでいませんでした。そのような街を変えようと、多くの障害者が声を挙げた結果、現在ではエレベーターや車いすトイレが町の中の殆どの駅に設置され、ノンステップバスが走るなど、バリアフリー化が進んできました。高齢者やベビーカーの利用者にも優しい街になってきました。しかし、障害者に対する差別や偏見もあり、「障害者が当たり前で暮らせる社会ではありません。私たちは大勢の人で賑わう栄の町で、マラソンを開催し、社会啓発として障害者が社会の一員であることをアピールします。

次ページで第30回家族交流事業「晴れときどき虹ー白石弘巳先生の講演」を紹介しています。

❖ 声を掛け合い、誘い合ってご参加ください ❖

第30回
名古屋市精神障害者
家族交流事業

晴れときどき虹

～こころの健康を願う家族と市民のつどい～

精神障害者が 地域で暮らすためには

講師 白石 弘巳先生

日時 2019年10月26日(土)
開場 12:30
開演 13:00～16:00

会場 中区役所ホール
(地下鉄「栄」駅下車 東へ徒歩3分)



スケジュール

13:00～ オープニング

- ①ディサービスセンターなかよし・あおぞら合同合唱団
- ②もりそディケアバンド ハンドベル演奏

13:30～ 精神障害者が地域で暮らすためには

入場無料

15:40～ 質疑応答

主催 NPO法人名古屋市精神障害者家族会連合会・名古屋市

後援 NHK厚生文化事業団中部支局
中日新聞・中日新聞社会事業団

問合 名古屋市健康福祉局障害福祉部障害企画課 ☎052-972-2532

要約筆記
手話通訳
あり

定員
先着
350名

心の病の人 その家族の人、支援し見守っていただける人、心の病に関心のある人へ...